

那賀川水系大規模氾濫減災協議会 平成30年9月 取組状況

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

⑥ 効果的な水防災意識社会再構築に役立つ広報や資料を作成

【四国地整】

那賀川河川事務所では、9月20～26日の7日間、阿南市内にある「ショッピングプラザ アピカ」にて、「那賀川防災パネル展」を実施しました。

展示パネルは、那賀川において戦後最大流量を記録した「平成26年8月台風11号」による水害記録、「想定最大規模降雨における浸水想定区域図」等に加え、昨年7月の「九州北部豪雨」、今年7月に西日本を中心に大きな被害をもたらした「平成30年7月豪雨」の被害状況も展示いたしました。

また、従来の航空レーザ測量では不可能だった川底の測量が可能となる「航空機グリーンレーザ(ALB)」測量を紹介するパネルなども展示しました。

普段の見慣れた光景も、大規模洪水により命に関わる災害になるということや、平成30年7月豪雨で重要性を再認識するきっかけとなった浸水想定区域図等を見てもらうことにより、地域住民の皆様には水害や防災について関心を持って頂きたいと考えています。



写真-1 テレビニュースでの紹介



写真-2 パネル展の状況①

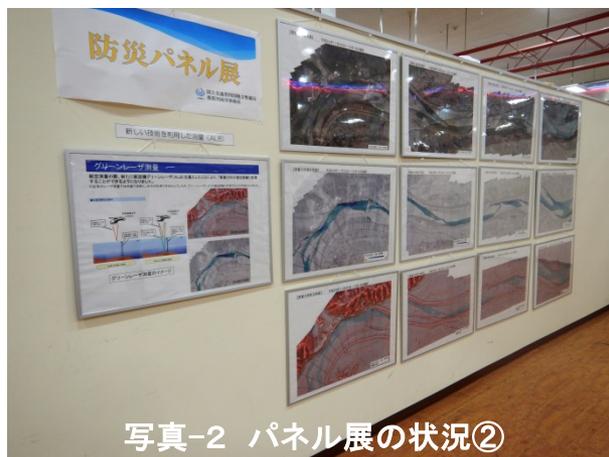


写真-2 パネル展の状況②



写真-2 パネル展の状況③